

季刊ジャネット Ja-Net

スリーエーネットワーク

April 2025

No. 113



獅子と天狗の舞（鳥羽春祭り）

Contents

- 4 あちこち日本語ご紹介
埼玉県 さいたま市
- 5 みんなの“日本語View from the Other Side”
マイケル・J・マクテグ (カナダ)
- 6 教材紹介
『JLPT 文法N2 ポイント&プラクティス』
『JLPT 文字・語彙N2 ポイント&プラクティス』
『日本語初級 大地 文型説明と翻訳』シリーズ
- 8 インフォメーション

巻頭寄稿

世界の絵本を子どもたちに届けたい

絵本作家・翻訳者・編集者

唐 亜明 (タンヤミン)

活路は「日本語」

私の仕事には日本語が重要ですが「日本語を学ぼう」と思ったきっかけは父でした。父は、1933年に美術を学ぶために日本に留学しましたが、1937年に留学を切り上げ、日本軍や国民党軍との抗日革命戦争に身を投じます。父はその後『解放軍報』『人民日報』などの新聞や、『毛沢東語録』の編集

を担当しましたが、文化大革命の折に権力闘争に巻き込まれ1968年に投獄されてしまいました。

父が捕まったとき、家は荒らされ、父のものはほとんど無くなりましたが、書棚に数冊日本語の本が残されていました。身内が投獄され、就職の自由が制限される状況下では、何か身を立てるスキルを身につけることが必要でした。日本語を勉強しようと決め、北京在住の日本人や、日本留学経験のある先生に教えてもらいました。このことは、その後の仕事に繋がったと思います。

人生の転機となった一本の電話

1980年以降、日本の歌謡曲が中国に紹介されるようになり、当時の私は中国音楽家協会では日本の歌の翻訳や、日本との交渉の通訳を行っていました。翻訳を担当したのものには團伊玖磨さん作曲「花の街」、浜口庫之助さん作詞作曲「バラが咲いた」、永六輔さんと中村八大さん作詞作曲の「こんにちは赤ちゃん」などがあります。

1982年9月のある日、「明日、日本から児童書出版社の代表団が来るのだけれど、風邪をひいてしまったので

通訳を代わってくれない?」と、お世話になった日本語の先生から電話がありました。「日本語の練習になるかも」と軽い気持ちで引き受けた通訳でしたが、この電話がその後の人生を大きく変えることとなります。

日本からのお客さんは、君島久子さん(中国文学者、『西遊記』の翻訳など)を団長に、松居直さん(福音館書店社長)、赤羽末吉さん(画家、代表作『スーホの白い馬』)など、錚々たるメンバーでした。松居さんには、中国の青年を育てたいという気持ちと、私が日中の架け橋になるという予感があったのかもしれませんが。旅程の最終日に「福音館で働かない?」と声をかけられたときは驚きました。

福音館書店で働く

1983年8月に日本へ入国し、福音館書店で働き始めました。当時、外国人の正社員は珍しく、私は日本の出版社で「はじめての外国人の正社員」だと思います。仕事では、中国との違いをいろいろ感じました。社会主義の中国の職場は当時、皆対等の意識が強かったのですが、日本では上司・部下の関係に戸惑いました。日本語の挨拶言葉も特徴的でした。中国では親しい人に、感謝の言葉をあまり口にしません。親しい間柄で、わざわざ御礼を言うのはかえって“水臭い”のです。日本では「先日は／昨日はどうもありがとうございました」というお礼や「ごめんなさい」「悪かった」など謝る言葉がよく使われていますよね。人間関係をこれら



2002年、万里の長城で絵本『万里の長城』(福音館書店)とともに(中央:加古里子氏、右:松居直氏)



『西遊記』(偕成社)、『十万本の矢』(岩波書店)、『ナージャとりゅうおう』(講談社)など、中国の民話を伝える絵本を執筆(絵:于大武)

の挨拶言葉で円滑にしようというのは、日本のコミュニケーションの特徴かもしれません。

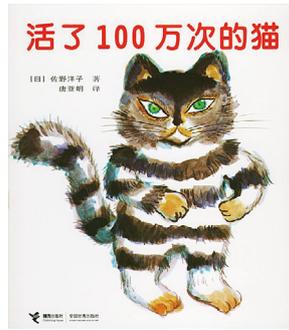
日本語と中国語には、直訳できないものが多くあることにも気づかされました。擬音語はその代表的なものです。電車が通る「ガタンゴトン」に近い中国語は「カァンランランカァンラン」ですが、この言葉には「グラグラと今にも崩れそうな危ういニュアンス」もあり、日本語とぴったり合いません。「コケッコー」は、独特の音が面白いのですが、中国語では「クォーウオーウオークォーウオーウオー」と単調になり、元の語感の面白さが失われてしまいます。また、日本語は「それから」「そして」などの接続

詞を多用して文の関係を示しますが、中国語では接続詞が多いと「くどい」と感じられてしまいます。

文化大革命で「大学で学ぶ機会」を失った私に、松居社長は「日本の大学で勉強し、日本語も磨くといい」と提案してくれたので、働きながら早稲田大学第二文学部で学び、東京大学大学院に進学して中国近代史を研究しました。このころ、初めて日本語で書いた小説『翡翠露』(1999年 TBSブリタニカ)は、第8回開高健賞奨励賞を受賞することができました。

福音館書店では、しばらく流通の仕事に携わった後、月刊絵本『こども

国境・国籍を越えて物語は伝わる



『鹿よ おれの兄弟よ』(福音館書店)は、講談社出版文化賞、小学館児童出版文化賞を受賞(文: 神沢利子、絵: G-D・パヴリーシン)

『100万回生きたねこ』(講談社) (文・絵: 佐野洋子)の中国語版は、中国で最も有名な絵本の一冊に

2025年の新刊『小晴養蚕(晴ちゃん蚕を飼う)』(浙江省児童出版)。

のとも』の編集部に移り、本格的に絵本の制作を行うようになります。ウクライナ民話『わらのうし』『かものむすめ』や、シベリア北方民族の生活を描く『鹿よ おれの兄弟よ』などを企画・編集した他、中国の民話を紹介する絵本を自ら執筆しました。これらの絵本のこだわりは、現地の画家を起用したことです。国境・国籍を越えて面白いものを子どもたちに伝え、現地の絵を鑑賞して視野を広げてほしいという気持ちもありました。

仕事が終わった縁

絵本の仕事では、たくさんの忘れられない人々との出会いがありました。拙著『ビートルズを知らなかった紅衛兵』(1990年 岩波書店)を読んでもらった佐野洋子さんから『100万回生きたねこ』(1977年 講談社)の中国語翻訳を頼まれたのは2002年でした。日本で300万部以上とも言われ、今でも人気のある絵本ですが、2004年に中国で発行した翻訳版の『活了100万次的猫』も、現在300万部を遥かに超えたと聞きます。「白髪三千丈」のような大きな規模のたとえを好む中国人に、「100万回生きた」という表現も理解され、きっと楽しめると思います。北京生まれの佐野さんは、四合院という伝統的な建物に住んでいて、猫がいつも

屋根を行ったり来たりしていたそうです。ご自分の人生を猫に重ねたのかなあと思いました。大陸的な気質をもち、率直な方で、親しく付き合っていたとき中国旅行も何度かご一緒しました。

皇后陛下(当時)美智子さまとも仕事のご縁がありました。宮内庁から突然電話があり、美智子さまの絵本『はじめてのやまのぼり』(1991年 至光社)の中国語訳を頼まれたのでした。大変嬉しく光栄なことでした。その後、美智子さまがお書きになった『橋をかけるー子供時代の読書の思い出』(2012年 文藝春秋)に感動した私は、翻訳を担当させていただき、こちらも中国で出版することができました。

2017年に皇居で美智子さまに面会する機会がありました。文化大革命に翻弄された、私の一家を描いた『ビートルズを知らない紅衛兵』も読んでくださっていましたが、私に関わった絵本の話や、やさしい眼差しでお聞きいただきました。すばらしい皇后陛下とお話しできたことは忘れられない出来事です。

絵本の魅力を伝えたい

福音館書店で働いた35年間の経験と、自分に子どもができたことで、絵本は子どもの成長にいかに大事なものと実感し、絵本の世界にますます

のめり込みました。福音館書店は2018年に退職しましたが、私は今、中国の児童書出版社の編集長として働いています。

中国には「絵本」という文化がありませんでした。中国で親がまず考えるのは「その本を読むと、わが子にどう役に立つの?」ということです。親が欲がる子ども向けの本はためになるもの、つまり「実用書」でした。絵やストーリー、語感を楽しむ「絵本」は新文化です。「ためになること」を求めるあまり、絵本を読んだあと子どもに感想を尋ねる親がいますが、これはよくありません。子どもが「感想」を用意しながら聞くようになってしまったためです。物語に集中して楽しめる環境を用意してあげることが重要で、絵本の読み方を大人に伝えることも大切だと感じています。

絵本は子どもたちが、新しい世界を知る「窓」になると思います。小さいころに、絵本を通して知った外国の物語や生活・文化、その多くは大人になるまでに忘れられてしまうかもしれませんが、きっとそのうちの幾つかは異文化理解の種となって、子どもたちの心に根付いてくれるはずで、日本で知った絵本の魅力を世界の子どもたち、大人たちに伝え、ひいては愛に満ちた平和な世界の実現に、これからも力を尽くしたいと思っています。



唐 亞明
(Tang, Yaming)

1953年、北京生まれ。人民解放軍のアコーディオン奏者、新聞記者、中国音楽協会での勤務を経て1983年に来日し、福音館書店に入社。絵本作家・編集者・翻訳者として200冊以上の制作に携わる。現在、中国の児童書出版社「小活字」編集長。主な著書に『ビートルズを知らなかった紅衛兵』(岩波書店)、『なみだでくずれた万里の長城』(岩波書店)、翻訳書に上皇后美智子さま著『架橋 童年阅读の回忆』(少年儿童出版社)、佐野洋子著『活了100万次的猫』(接力出版社)など。

あちこち日本語ご紹介

埼玉県 さいたま市

認定日本語教育機関としての始動と、 授業デザインの変化

与野学院日本語学校

教務主任 大知里弘美

与野学院日本語学校は1988年創立のさいたま市大宮区にある日本語学校で、都心からのアクセスもよく、定員は320名、随時15か国ほどの学生が在籍しています。学校の脇には、約2kmにわたって続く氷川神社の参道があり、静かで勉強に集中できる環境です。

認定と『みんなの日本語』

本校は文科省の審査を受け、2024年10月に認定日本語教育機関として認定されました。新制度における認定校は、全国でまだ22校ということで、大変有難く感じています。申請準備は思った以上に大変で、学び、気づき、悩みなど苦労の連続でした。

認定申請するにあたり、まずは教務の中でチームを組んで、課程や科目、授業内容をかなり見直しましたが、『みんなの日本語』を引き続き使うと決めたのは、チームの総意でした。『みんなの日本語』の授業では、日本語教育の参照枠の理念を実現できない」という誤解に対し、「できるはずだ」という反骨精神とチャレンジ精神が根底にありました。認定に際しては、カリキュラムや授業デザインの見直しのため、かな

りの時間『みんなの日本語』と向き合うことになりました。

考え方や授業デザインの変化

認定以前は、「初級の授業」という大きな位置づけで『みんなの日本語 本冊』を使っていました。認定に向けて一番の変更点は、「初級総合という科目において、読む・聞く・話す(やりとり)・話す(発表)・書くの5つの言語活動(5技能)を『みんなの日本語 本冊』の“この部分を活用して学習する”」と明確に意識し、分けたことです。教材の中で「今この学習は、この言語活動のこの到達目標に向かって行っている」と意識することは、学習を効率的にするのではないかと思います。

教員間の教える際の意識もこれによって今後どんどん統一されていくような気がしています。以前は学習到達目標を目指して、各教員がそれぞれ最良と思う方法で授業を組み立てていましたが、言語活動毎の到達目標、さらに



「みんなの日本語かるた大会」に参加する学生たち

はその日のCan-doを共有することにより「何のために何をすればいいか」という部分の統一がされたのは、教える方にも教わる方にも有益ではないかと思っています。

加えて、各課にオリジナルのタスクを作成し、練習を拡張して5技能の学びの幅を広げることにしました。例えば「書く力」を伸ばす作文や、「話す力」を伸ばす発表のタスクを追加することで、初級総合の科目の中で、無理なく5技能の学習を実現でき、言語活動間のバランスもとれるのではないかと考えました。これらのタスクは、学生の5技能をどう伸ばすか改めて意識したことで、追加することができました。

また、今までは本冊の会話部分を暗記させた上で、自分のことに変えて会話練習をしていましたが、「参照枠」の理念に則り、長い文を暗記するという活動を省きました。省いた時間はオリジナルのタスクを協働学習で行う「書く」「話す」科目に充てたことで、各課にかかる時間は変えずに、様々な活動を行うことができ、有意義に進められるのではないかと考えています。

今後の展望

『みんなの日本語』を見直して、改めて料理のしがいがある教材だなあと感じました。当校の課程は「日本理解のための日本語課程」なので、今後の展開としては、当校の課程に合わせてもっとうまくこの教材を料理することです。十分日本理解もできる要素が入っているので、今度はそこを見直して新しい可能性を探りたいです。いろいろな活動を考えるとワクワクします。

みんなの“日本語View from the Other Side”

このコラムでは、学習者や日本語に携わる方の視点から話題をお届けします



マイケル・J・マクテীগ

カナダ、アルバータ州出身。カナダではロボットを活用し、人の立ち入ることが難しいエリアの調査・撮影をする技師として勤務する傍ら、デザイナーとして活動。2019年に大阪の盆栽園（藤川光華園）に弟子入りし、5年間の修業を満了。盆栽職人。WEBサイト <https://linktr.ee/bonsaiharmony>

illustration 内山洋見

自然と人の力の融合、 「盆栽」に魅せられて

日本と比べて寒すぎるため、日本の樹と相性がよくありません。独学で育てた盆栽は、根をうまく張ってくれないものや、枯れてしまったものもありました。

トライ&エラーをしながら「プロの職人のもとで学びたい」という気持ちが強くなり、日本の盆栽園5カ所に英語で「弟子入り希望」のメールを送ったところ、藤川光華園だけが返事をくれました。藤川光華園にはアメリカ人の先輩がいました。先輩の通訳の助けもあって、2019年5月の面接で弟子入りが認められ、11月から修業がはじまりました。

—盆栽園の仕事をお教えください

盆栽づくりには様々な作業があります。親方は、理想の形を針金で作っていく「針金かけ」を任せてくれました。「親方の頭の中にある理想の形」を想像し、実現するのは難しいです。盆栽の幹の根本から根が均等にしっかり広がる様子は、「根張りがいい」と表現されますが、よい姿を作るためには、枝だけでなく根も剪定などの手入れが必要です。また樹は、芽がある部分は元気になり「太く、強く」なります。盆栽は「細く、枝がたくさんある」ほうがよいので「元気なところ」の芽を摘み、逆に樹の「弱いところ」は芽を残して元気になるようにバランスをとります。この作業を

「芽摘み」と言います。藤川光華園では水やりを含め、毎日400以上の盆栽の手入れを行っています。

—日本語はどう学びましたか

来日後すぐ、偶然入ったお好み焼き屋の店主に誘われ、バンドでボーカルを務めることになりました。週1回の練習の後、2時間ほどおしゃべりをする中で日本語を身につけ、日本文化も学ぶことができました。親方の日本語での指導は理解が大変でしたが、今では専門用語が使われる様々な仕事の場面も、日本語で対応することができます。親方や仲間との会話から、関西弁も自然とわかるようになりました。

—夢をお教えください

5月に日本盆栽協同組合から「5年の修業を終えた」ことを示す表彰状が授与され、一人前の盆栽職人として認められます。盆栽職人の仕事は「盆栽の手入れと販売」だけでなく、作品のレンタル、国内外でのワークショップ、盆栽を預かる・出張して手入れするなど様々で、ネットワークが重要です。今後は藤川光華園で一人の盆栽職人として働きながら、将来の夢「独立」に向けてネットワークを広げ、盆栽の魅力を発信していきたいです。



マイケルさん作の真柏しんぼく・枯れた白い部分（舍利）と、赤茶の樹皮（水吸い）の対比が美しい

—盆栽に興味をもったきっかけは

2018年、初の日本旅行の機内で「盆栽職人に弟子入りする外国人」の映像を見たのがきっかけです。実家は牧場で、自然の中で育ちました。当時はデザインの仕事もしていて、自然とアートはどちらも好きでした。盆栽は自然と人、2つの力から生まれる芸術です。盆栽と出会い「これはすごいものだ!」と大きな感動と衝撃を受けました。

—国でも盆栽を育てていましたか

あの感動と衝撃が忘れられず、帰国後に盆栽を集め、本やYouTubeを見ながら育てました。しかし、カナダは

『JLPT文法N2 ポイント&プラクティス』

齋藤明子・森田亮子・小谷野美穂 著

B5判 152頁 別冊78頁(予定) 1,540円(税込) 6月発行予定

ポイントを絞って効率よくN2文法を身につけよう

IKOMA Language School Singapore

森田亮子

本書は、効率的に日本語能力試験N2合格を目指したい学習者のための文法対策問題集です。

N2認定の目安は「日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」とあります(日本語能力試験公式ウェブサイトより)。N3レベルの「日常的な場面」に、「より幅広い場面」が加わりました。

本書ではシリーズ『文法N3』と同様、学習者が限られた時間の中で文法のポイントを効率よく学べること、かつ文法運用力も高められることを目標にしました。さらに「より幅広い場面」、例えばビジネスやアカデミックなシーンにおいて、社会問題や専門知識などを扱うことや、より込み入った心情を表現するなどの産出を想定し、文法知識を学びながら、幅広い場面でのコミュニケーションに対応できるよう作成しました。

本書の特長

- ①実際の日本語能力試験の形式の問題で練習できる。
- ②各文法項目のルールや使い方がリストにまとめられており、解説も充実しているので、独習もできる。
- ③各文法項目をどんな場面で使うのかを、例文と談話からつかむことができる。

本書の構成

●問題パート

問題パートは全30回あり、1回あたり4～5つ程度の文法を扱います。問題パートは各回のはじめに導入として「声に出して言いましょ」があります。学習者が日本の生活で経験すると想定される談話や文章を提示しました。文法項目の一つとして独立して学習するのではなく、日常場面や人

間関係などを表す談話の中で理解してもらうことを狙いとしています。その後、実際の試験と同形式である練習1の空所補充、練習2の並べ替え、練習3の文章の問題に取り組みます。「まとめの問題」は5回ごとにあり、学習した文法が定着したかどうか確認できます。

●模擬試験

問題パートの最後に模擬試験が1回分あります。本試験の問題形式に対応した試験です。最後の仕上げとして取り組んでみましょう。

●リストパート

文法解説を記したパートです。問題パートの各回で取り上げた文法項目に関して、意味の説明、接続、例文をまとめたものです。意味の解説には英語、中国語、ベトナム語の翻訳がつきます。

●解答・解説(別冊)

問題パートと模擬試験の解答と解説が掲載してあります。

おすすめの学習方法

まず、問題パートの最初にある「声に出して言いましょ」を声に出して読み、文法項目が使われている場面を確認しましょう。ここでN2ならではの「より幅広い場面」を感じることができると思います。発展練習として、ドラマ形式にして発表する、自由に会話を続ける、テーマについて話し合うなどしてもいいでしょう。

その後、練習1から練習3を解いて、答え合わせをします。間違えた問題は、リストや解答・解説を確認し、復習してください。

N2文法を初めて学ぶ場合は、先にリストパートで文法項目の使い方を学習してから問題を解くといいでしょう。

本書は学校等でのクラス授業にも、また独習にも使用が可能ですが、ぜひ本書でN2レベルの文法を学びながら、実生活での「幅広い場面」で、習った文法を活用していただければと思います。

『JLPT文字・語彙N2 ポイント&プラクティス』

本田ゆかり・前坊香菜子・菅原裕子・関裕子・黄慧 著

B5判 126頁 別冊48頁(予定) 1,540円(税込) 7月発行予定

話題ごとにまとめられた語彙を、効率的に学ぶ！

東京外国語大学大学院国際日本学研究院

特別研究員 本田ゆかり

構成

本冊と別冊があります。本冊は問題パートとリストパートに分かれています(全30回)。別冊は解答と解説で、取り外して使えます。

本冊の順番通り、問題を先に解いてから、語彙や漢字をリストパートで確認するのがおすすめです。学習者は試験のような緊張感のもと、語彙や漢字に注意を向けますので、知識の整理、理解、記憶がスムーズに進みます。

【問題パート】

問題は全て本試験形式

本試験と同じ形式の問題を解くことで出題形式に慣れ、試験に備えることができます。

【リストパート】

・必要な項目を厳選

試験に出題されやすい項目に絞って提示しています(語彙:約950語、漢字:約270字)。重要な語彙や漢字だけを勉強したい方や、短時間で試験対策授業を行う先生方におすすめです。

・語彙と漢字を一緒に学ぶ

各回のリストは、語彙パートと漢字

パートに分かれています。漢字は、語彙パートで使われている漢字の中から取り上げていますので、効率よく学習することができ、漢字が苦手な学習者の負担が軽減されます。

・話題ごとに楽しみながら学ぶ

リストパートは話題ごとにまとめられています。意味や用法を確認しながら会話を展開すれば、単調になりがちな語彙や漢字の授業を楽しく進められます。

【別冊 解答・解説】

丁寧な解説と、英語・中国語・ベトナム語訳がついており、独習の方にも使いやすくなっています。

「日本語初級 大地 文型説明と翻訳」シリーズ

本シリーズは、日本語学校や大学で日本語を学ぶ外国人のための初級総合教材『日本語初級1大地 メインテキスト』『同 初級2』の副教材です。

『メインテキスト』の各課の会話や新出語、文法・表現などの学習項目に各国語の訳や説明を添え、『メインテキスト』の学習をサポートします。予習や復習などに利用することで、学習項目の理解・定着にお役立ていただけます。

『日本語初級1大地 文型説明と翻訳』は、この春新たに「タイ語版」「ネパール語版」がラインナップに加わりました。

ラインナップ

各税込2,200円 ㊦は電子書籍も配信

●初級1

英語版㊦／中国語版㊦／韓国語版／ベトナム語版㊦／タイ語版／ネパール語版

●初級2

英語版㊦／中国語版㊦／韓国語版／ベトナム語版

*タイ語版(2025年6月発売予定)、ネパール語版(2025年夏発売予定)



語彙訳 (PDF) 配信中

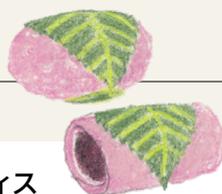
『文型説明と翻訳』が発行されていない一部の言語(インドネシア語・中国語繁体字・スペイン語・ポルトガル語・ビルマ語)については、WEBサイトで語彙訳(PDF)を無料で公開しています。併せてご活用ください。

語彙訳のダウンロードはこちら→





日本留学試験 聴解・聴読解 ポイント&プラクティス
 JLPT文法N2 ポイント&プラクティス
 JLPT文字・語彙N2 ポイント&プラクティス



2,200 円
 1,540 円
 1,540 円

6 月発行予定
 6 月発行予定
 7 月発行予定

お知らせ

「教材紹介動画」公開

『みんなの日本語 初級』『日本語初級 大地』の教材の構成や特長、活用法をご紹介します。それぞれ10分程度の動画が2本あります。ぜひご覧ください。



教材リーフレット、図書目録のご案内

教材のリーフレット、スリーエーネットワークの図書目録は、電子版または紙の冊子でご覧いただけます。紙の冊子でご覧になりたい方には、無料でお届けいたします(国内のみ)。数に限りがあるため、なくなり次第、発送は終了させていただきます。

もっと知りたい みんなの日本語

「みんなの日本語」シリーズの教材ラインナップや無料補助コンテンツのご案内、教材を使った授業づくりのコラムを掲載しているリーフレットです。

もっと知りたい 日本語試験対策教材

日本語能力試験、日本留学試験、BJTビジネス日本語能力テストの対策教材を紹介し

ています。教材ラインナップや無料補助コンテンツ、教材紹介動画のご案内などを掲載しているリーフレットです。

2025スリーエーネットワーク 日本語・外国語 図書目録

スリーエーネットワークが販売している全ての書籍の目録です。

●リーフレットの閲覧・郵送のお申込み



●図書目録の閲覧・郵送のお申込み



「うちにパンダがいるよ」をプレゼント

巻頭に寄稿して下さった唐亜明さん作の絵本『うちにパンダがいるよ』をJa-Netをご覧の5名様にプレゼントします。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。



【応募方法】

- ウェブサイト <https://x.gd/moZTA>
- FAX・はがき 右記のアンケートにご回答の上、お名前、ご住所、お電話番号とあわせて、Ja-Net編集室(本頁下の連絡先)までお送りください。

Q1.日本語を教えている場所はどこですか。

- ①日本語学校 ②専門学校 ③大学
- ④地域日本語教室 ⑤小中学校・高校
- ⑥企業・団体 ⑦技能実習生受け入れ協同組合 ⑧その他 ⑨教えていない

Q2.Ja-Net今号について、ご意見や感想などを聞かせください。

【締め切り】

2025年6月30日(月) 23:59 (はがきは当日消印有効)

【当選発表ならびに個人情報の取り扱いについて】プレゼントの当選発表は書籍の発送をもってかえさせていただきます(7月発送予定)。また当選案内の連絡がつかない場合、当選は無効となります。応募していただいた方の個人情報はプレゼント発送以外の目的には使用いたしません。



表紙のイラスト

「獅子と天狗の舞」は「夫婦獅子大鶴稻拾い(めおとしおおつるいねひろい)の舞」とも呼ばれ、三重県鳥羽市、大山祇神社の春祭りで奉納される400年の歴史を持つ神事です。春祭りは4町の輪番制で、現在は「中之郷」と「藤之郷」の当番年に雌雄2頭の獅子と6羽の天狗の舞が行われます。

季刊ジャネット

Ja-Net No.113

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2025年4月25日発行

- 発行人 藤崎政子
- 発行所 (株)スリーエーネットワーク
Ja-Net 編集室
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4
トラステイ麹町ビル2F
TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729
E-mail: sales@3anet.co.jp
<https://www.3anet.co.jp/>

- デザイン パーシック 畑中 猛
 - イラスト 竹永絵里 (P.1, 8)
 - 印刷 (株) マイナビサポート
- © 2025 by 3A Corporation
 Printed in Japan (禁無断転載)

「Ja-Net」をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。次号は2025年7月25日発行予定です。